



2025年7月31日

各位

ENEOS Xplora 株式会社

### メタンガス排出量の可視化に関する実証試験の実施について

当社（社長：忍田 泰彦）は、このたび、中条事業所（新潟県胎内市、所長：藤井 一親）において、日本国内の石油・天然ガス生産操業現場で初めて、LiDAR〈注〉技術を用いた固定式連続モニタリングによるメタンガス排出量の可視化に関する実証試験を実施しましたので、お知らせいたします。

世界的なカーボンニュートラルの潮流に対応するため、継続的な温室効果ガス排出量のモニタリングや削減の重要性が増しています。特にメタンガスは、二酸化炭素よりも大きな温室効果を有しているため、昨今、世界中で排出規制強化が進んでいます。本件は、操業現場でのデジタル技術を活用したメタンガス排出量の可視化とその対策を講じることを通じて、メタンガス排出量の削減を目指す取り組みの一環として行われたものです。

本実証試験においては、天然ガス生産・処理段階での各種事由による少量の大気放出（バント）作業時に、LiDAR カメラ等でメタンガスを検知してデジタルプラットフォーム上でリアルタイムに可視化できることを確認いたしました。

当社は、今回の実証試験の結果を基に、同技術の国内外の操業現場での活用も視野に検討するとともに、今後も実証試験等を通じて操業現場へのデジタル技術等の利活用による操業効率化および高度化を目指してまいります。

〈注〉LiDAR : Light Detection and Ranging の略、レーザー光を照射し、その反射光が戻ってくるまでの時間を計測することで、対象物までの距離や形状を正確に測定する技術

### 実証試験の概要

- 試験場所：中条事業所（新潟県胎内市）施設の敷地内
- 利用機器：LiDAR カメラ（SLB Methane LiDAR Camera）  
固定センサー（SLB Methane Point Instrument）
- 測定方法：機器設置および常時観測

※本実証試験はシュルンベルジェ株式会社（SLB）に委託し実施したものです。



LiDAR カメラ（左）と固定センサー（右）



本実証試験を実施した中条事業所

以上